

# アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物	■ 2面	マルガリータ宣言
	■ 3面	「パリ協定」とTPP
	■ 4、5面	ラオス訪問団の報告
	■ 6面	全国学習交流集会
	■ 7面	列島AALA
■ 8面	私とAALA	

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2016年11月1日 No.676

## ラオス平和連帯委に 国際署名1万4500筆を託す



### ラオス訪問団・非核と東アジアの平和で協力を確認

ラオス訪問団（田中団長ら20人）は2016年9月22日から28日まで、ラオスを訪問しました。

今回の訪問の目的は、ASEAN首脳会議と東アジア首脳会議（EAS）の議長国である同国の政府に東アジアの平和の共同体を求める国際署名を届けること、平和団体との友好を深めることとラオスを知ることの3つでした。首脳会議の日程が繰り上がったこともあって、結果的に平和連帯委員会を通じて政府に署名を届けるかたちになりました。

ラオス平和連帯委員会は、政権党、人民革命党の国際部の中であって、会長のカンパン・シマラフォン氏（写真中央）は駐タイ大使や駐仏

大使、通産次官を歴任したベテラン外交官です。ASEAN憲章の起草（2007年）に直接携わった専門家でもあり、訪問団全員が出席した懇談はとても有意義なものでした。

懇談の締めくくりに野本事務局長が、東アジアの平和の共同体をめざす運動で集めた1万4000人と500団体の志を受け取っていただきたいと、メッセージとともに署名用紙を提出しました。カンパン会長は、メッセージに目を凝らし、「みなさんのお気持ちは承りました。こういう訪問がアジアの平和に貢献すると思う」と答えました。

（詳細は4、5ページ参照）

## 第17回非同盟諸国首脳会議

「マルガリータ宣言」の  
紹介

第17回非同盟諸国首脳会議（9月17、18日於・ベネズエラ・ボリーバル共和国）で決定された今後3年間の運動の方向を示す「マルガリータ宣言」（21項目）のうち、紙面の関係で特筆すべき10の項目の概要をご紹介します。全文（英文）、下記の項目の全文和訳は日本 AALA のHP をご参照ください。

## 1 項 運動の強化と再活性化

非同盟運動の定着、強化および再活性化に対し完全かつ決然とした支持を再確認。それは非同盟運動の遺産と歴史的有効性の維持、加盟諸国の多様性の中の統一およびその連帯を基礎にし、非同盟運動の強靱さ、結束および活力を確保するための唯一の保証である。

## 2 項 国際の平和および安全の強化

戦争と武力紛争の災厄から将来の世代を救うため、国連憲章の第2条、第6章【紛争の平和的解決】などと国際法に従い、紛争の平和的解決を促進すること。また、立憲政府を転覆することを目的とした非合法的な体制変革を拒否する。さらに、国連憲章に従って、主権の尊重、諸国家の主権平等、諸国家の内政への不干渉、紛争の平和的解決、及び武力による威嚇や武力行使を慎むこと。

## 3 項 自決権

非自治地域（国連の非植民地化委員会が指定する西サハラ、ニューカレドニア、仏領ポリネシア、グアムなど17の植民地、海外属領）の人民、ならびに外国による占領、植民地的あるいは外国支配下にある領域の人民を含む全人民の、譲ることのできない自決権を強調。

## 4 項 軍縮および国際安全保障

大量破壊兵器とりわけ核兵器の存在が人類に与える脅威の廃絶に向けた努力を倍加させる意思を再確認。また、中東に非核兵器地帯を樹立することを決意。核兵器の

保有、開発、製造、購入、実験、貯蔵、移転、使用ないし使用の威嚇を禁止し、特定された時間的枠組みを伴うかたちでその破壊を規定する、核兵器についての包括的条約に関する交渉の迅速な開始を求める。さらに、平和的目的のために核エネルギーを開発する各国の主権の権利を、その独立と経済的發展のために維持する旨を重ねて宣明。

## 6 項 一方的制裁

加盟諸国に対する一方的強圧措置の発布および適用に対し、国連憲章および国際法、とりわけ内政不干渉、自決、独立の原則を侵害するものとして、その非難を表明。各国がその富、天然資源、経済活動の総体に対する完全な主権を有し、それを自由に行使できることを再確認。

## 7 項 テロリズム

テロリズムが国際の平和と安全に対する最も深刻な脅威のひとつとなっている。その動機、場所、実行者の如何を問わず、あらゆる形態および表れによるテロリスト活動に対し断固非難する。加えて、テロリズム、および暴力的過激主義は、いかなる宗教、国籍、文明あるいは民族集団に結びつけられ得るものでも、結びつけられるものでない。

## 9 項 パレスチナ問題を含む中東情勢

イスラエルに対し、国連安保理決議などに従い、1967年6月以来占領しているヨルダン川西岸およびガザ地区からの撤退を要求する。イスラエルによる占領および

関連する政策と実行は、その自決および独立の正統な権利を否定するものである。非同盟諸国に、包括的・公正かつ最終的な平和を達成するために、長年の委任事項と要素に基づく信頼できる平和プロセスを再開し支援するべく、あらゆる努力を求める。さらに、占領下にあるシリアのゴラン高原から1967年6月4日当時の国境まで完全に撤退するよう再度要求。

## 10 項 国連改革

国連のもっとも民主的で、説明責任可能であり、普遍的かつ代表性の高い機関としての総会の権威を回復し強化する必要性を重ねて宣明。さらに、安保理をより民主的、効果的、効率的、透明かつ代表性の高い機関へと改変することを求める。

## 11 項 国連事務総長の選定と指名

国連事務総長の選定・指名プロセスにおいて総会に付与されている中心的役割を強調。

## 12 項 平和維持活動

平和維持活動（PKO）が国連憲章に記されている原則と目的を厳格に遵守して実行されなければならないことを再確認するとともに、諸国家の主権、領土保全、独立ならびに内政不干渉の原則の尊重こそ国際の平和と安全の促進における共同努力の主要な要素であると強調。この点に関して、平和維持の基本原則、すなわち当事者の同意、中立性、および自衛の場合を除く武力の不使用の尊重こそが平和維持活動の成功にとって重要である。

# 「パリ協定」と TPP

## 日本は二重の孤立



農民運動全国連合会副会長  
日本 AALA 常任理事 真嶋良孝

いま世界で話題になっている国際協定は、「パリ協定」と TPP だといってよいでしょう。

2020 年以降の地球温暖化対策の新たな枠組みを定めた「パリ協定」は、アメリカを含む世界 73 カ国が批准して、間もなく成立します。合意から 1 年弱の急展開です。ところが、日本政府は完全に出遅れて孤立しています。

例年は赤道近くで発生して北上する台風が、今年は日本列島付近で発生して東北や北海道を直撃するなど、気候の異常さが印象づけられた年でした。ところが、台風の記憶が生々しい 9 月末、安倍首相がおこなった施政方針演説には、「パリ協定」の「パ」の字もありませんでした。

その一方、安倍政権は署名後わずか 1 カ月半で TPP 協定案を国会に提出し、批准に躍起です。TPP は、巨大多国籍企業の利益のために、農業をつぶし、食の安全、医療、雇用、保険・共済など、あらゆる分野の「非関税障壁」を撤廃する協定です。だからこそ、日本でもアメリカでも、カナダやニュージーランド、オーストラリア、マレーシアでも、TPP 関係国の国民の反対運動はもりあがっています。

本家本元のアメリカでは、多国籍企業と米国民の矛盾を反映して、大統領候補が TPP 反対を競い合っています。

保守的な論調で知られるイギリスの「フィナ

ンシャルタイムズ」紙は共和・民主両党の党大会が終わった直後、印象的な論評を掲載しました。「いまのかたちの TPP は死んだ。別のどんなかたちでも TPP をよみがえらせるのは難しい。もし TPP が米国の手にかかって死んだら……米国主導のグローバリズムの時代は崩壊しはじめる」(7 月 28 日)。

世界が成立を望む「パリ協定」には二の足を踏む一方、主要国が批准をためらい、流産の可能性さえ指摘されはじめている TPP 協定の批准に、1 人だけ前のめりになっている安倍政権。戦争と核の問題でも、経済主権・食糧主権の問題でも、孤立ぶりは明らかです。

私たちの調査で、アメリカはハエのウジや卵、昆虫の切片、カビなどが混じっていても立派な食品だと公認する異物混入基準を維持していることが判明しました(新聞「農民」9 月 26 日号)。この悪夢のような基準は、TPP が発効すれば、「科学的基準」として日本にも押しつけられるおそれが濃厚です。

幸い、「パリ協定」は日本が批准しなくても発効しますが、TPP は日本とアメリカが批准しなければ発効しません。ウジ虫の悪夢をはねのけるためにも、安倍政権の暴走にストップをかけるときです。

**TPP 批准阻止しよう!**

**全国で運動が広がる**

安倍晋三政権の、今臨時国会での TPP の批准強行の動きに対して全国で反対の運動が広がっています。

10 月 12 日夜、衆議院議員会館前で抗議行動が「TPP を批准させない! 全国共同行動」の呼びかけでおこなわれました。15 日には、「TPP 批准阻止 1 万人行動」を東京芝公園で開催します。国民に内容を明ら

かにせず今国会で拙速に批准することは認めないという国民の声を示すためにおこなわれます。4 野党の議員の参加、各界からの参加でひらきます。群馬 AALA は前橋で「TPP 問題勉強会」をひらきます。これからも各地域で開催される集会に参加しましょう。(10/13 記)

# 日本 AALA ラオス訪問団の報告

田中靖宏国際部長（訪問団団長）と河内研一学術研究部長に「国際署名」を手渡すことを主要な目的とした今回のラオス訪問について、その意義を書いていただきました。

## 念願のラオス訪問を果たして

「ヴェトナム戦中派」を自認する私には、パテト・ラオ、ホーチミン・ルート、スファヌヴォン、ジャール平原、ヴィエンチャン等々のラオスにまつわる記憶はすべてヴェトナム戦争と結びつく。私が AA 連帯や日ベト協会と出会ったのは 1970 年、当時西ヶ原にあった東京外語大のキャンパスであった。撃墜した米軍機からつくったという、確か「金星」という名の万年筆を 800 円で売り歩いた記憶もある。ラオス語科のなかった大学に日本ラオス友好協会の班はなかったが、江口朴郎氏がその会の会長であることは知っていた。同世代でも法政や津田塾の院生の友人たちは直接彼の薫陶を受けられたが、私は中村平治氏を通しての孫弟子たらんことを念じてきた。

今回の満を持してのラオス訪問でとくに印象深かったのは、COPE (=Cooperative Orthotic & Prosthetic Enterprise「矯正具および機能修復のための協同事業」) の見学であった。ヴェトナム戦争時に投下されたクラスター爆弾の不発弾 8000 万個はいまでも被害者を出し続けているが、保健省直属の医療リハビリセンターと協同で、それら障がい者を支援しているのが NPO 法人である NGO の COPE である。そこには官民を問わず世界中から義援金が寄せられている。

署名を友好的に受け取ってくれたラオス平和連帯委員会会長のカンパン氏だったが、政権党の立場ゆえに、日本政府の援助や政府間の友好協力

関係が一面強調されるさらいを感じたのは私だけだったろうか。そこで私は懇談のなかで、江口朴郎氏の名を挙げつついまはなき日本ラオス友好協

会に触れ、人民（市民）レベルの友好関係促進の必要性を拙い英語で訴えたのだった。日中、日朝、日ベト、キューバ、ユーラシアと友好協会は残っているが、ラオスをはじめ多くの国々との多角的な民間外交、草の根交流は、いまや我々 AALA 連帯委員会なくしてありえないとの思いをいっそう強めることとなった旅であった。

東アジア平和共同体という壮大な夢実現のため、次なる ASEAN 議長国フィリピンに向け、一刻も早く新たな署名を開始したい。

（河内研一）



保健省医療リハビリセンターで説明を受ける参加者

### ラオス訪問団の感想

- ラオス平和連帯委員会への署名提出と懇談は貴重な体験でした。「国会議長は女性だということ、女性議員が 25% を占めていること、貧困削減に人民革命党の計画に沿って 5 年計画を進めていること、文化、教育、医療、保健に力を入れている。経済発展は平和あればこそ」が印象的でした。（女性）
- メコン川クルーズが特に良かった。インドシナを悠然として流れ、人びとの生活の礎となっている川は感動そのものである。（男性）
- ラオス人民軍歴史博物館で、兵士でもある案内人の男性が、「給料は安くても、いざというときには闘うのでしょうか？」という質問に「闘いません。闘うことをやめた軍隊ですから」という答えが返ってきたのにはびっくりした。（女性）
- COPE センターの視察では、米空軍が 300 万人のラオス人に対して 300 万トンのクラスター爆弾等を投下したことにより、今でも手足を失った人びと、障がい者のために義手、義足をつくっている施設を見たのは本当に「論より証拠」で、米国への怒りが湧いてきました。（女性）
- 仏教が暮らしに根づいている穏やかな社会だと思う。経済発展にともない大切なものを失わないよう切に願う。（女性）



カンバン会長のお話を聞き懇談する訪問団

## 小さな国も平等の資格で参加、 紛争の話し合い解決に徹する ASEAN の努力

日本 AALA は、ベトナム戦争中、在日米軍基地から出撃する米軍のラオス爆撃に反対して全国で抗議運動を展開、ラオスの解放勢力を訪問して友好連帯を深めた歴史を持っています。訪問団は北東アジアや南シナ海の緊張が高まるなかで、アジアの人民が対立でなく友好と共存の立場で連帯することが大事だと考え、東アジアに平和の共同体をめざすことを訴えて活動していることを紹介しました。

カンバン会長は、日本とラオスの関係は良好で、日本政府から多くの援助をもらい感謝しているとしつつ、両国関係は多面的であるべきで、日本 AALA のような民間団体とも協力し友好を深めることが友好の発展とアジアの平和につながると考えていると、訪問団を歓迎しました。

会長は、ラオスが最近著しい経済発展をとげていること、政府や与党が貧困の削減に優先的に取り組みながら、環境保護とラオスの文化にあった経済発展を目指していること、外交では議長国として紛争の話し合い解決の努力をして一連の首脳会議を主宰した、と話しました。多様な国が参加する ASEAN 加盟国が「平等の資格」で参加し、民主化や経済開発の途上で困難を抱える国がでたときも、内政不干渉の原則を守って粘り強く相互支援をしていること、さらに紛争の話し合い解決という原則と規範を日本や中

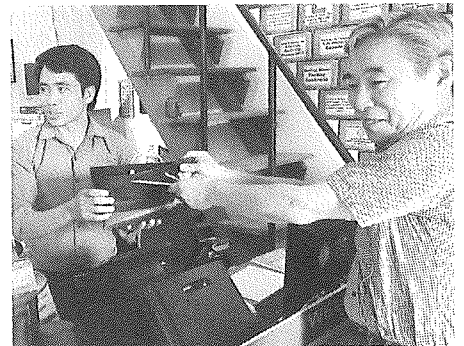
国、韓国、米国などの域外国との関係でも適用して関係を発展させていることなど、ASEAN の平和努力を説明しました。また大国に囲まれた小さいラオスが中心に位置していることを利用して、各国との関係を取り持つ重要な役割を果たしている」と述べました。

### 非核と外国軍基地の撤去など共通の課題で連帯

兵庫 AALA から参加した須増唯さんが、非核神戸方式を紹介し「ラオスにはラオスの平和のやり方があると思うが、私たちのやり方も知ってほしい」と要望したのに対し、カンバン会長は「ASEAN 憲章には、非核、つまり核兵器をつくらない、持たない、持ち込ませないという原則が入っている。それからなにかあったときにも武力は使わないこと、外交で解決することを原理にしている。外国の軍事基地をつくらせないことも約束している」と述べました。訪問団からもベトナム戦争での経験などから米軍基地のない日本を目指して活動していきたいと決意をのべ、非核や外国軍基地の撤去の課題とともに協力していくことを約束しました。

### 米軍爆撃の後遺症とたたかう

訪問団は 23 日、米軍の爆撃で落と



COPE センターにカンバを渡す田中団長

されたクラスター爆弾の不発弾の犠牲者を救済する障がい者施設 (COPE) とリハビリセンターを訪問しました。COPE (Cooperative Orthotic and Prosthetic Enterprise) は、1977 年に保健省と外国の NGO が協力でできた全国に 5 つある施設の 1 つで、義足や義手など障がい者の補助器具の製作と訓練をしています。

1964 年から 1973 年まで 9 年間にわたった爆撃は第二次大戦中に日本とドイツに落とされたよりも多い 2009 万トンが投下され、飛び散った子爆弾は 2 億 7000 万発に上ります。そのうち 8000 万発が不発弾とみられ、戦争が終わって 40 年以上たついても、住宅を建てる青年たちや野原で遊ぶ子どもたちが犠牲になっています。訪問団は施設の責任者から説明をうけ、いまでも続く戦争の後遺症とたたかう人びとを励まし、カンバを手渡しました。古都ルアンパバーンでは、多くの寺院や史跡を訪問し、仏教文化がいまもラオス社会に深く根づいて、寛容と慈悲にあふれた国民性を涵養していることを実感しました。(田中靖宏)

## 日本 AALA 全国学習交流集会

全国学習交流集会は次の要領で開催します。

### 目的

- ① 情勢を学習し、日本 AALA の役割と存在意義に確信を持つ
- ② 諸課題のとりくみ、特に国際署名、組織拡大や組織確立などの経験交流

### 日程と内容

11月28日(月)、29日(火)

#### ■1日目 13:00 開会

- ① 記念講演 13:10～14:40(90分) 質問など 14:40～15:10(30分)  
講師：萩原伸次郎・横浜国大名誉教授 テーマ：米大統領選挙と経済など(予定)
- ② 3役会からの基調報告 15:15～15:40(25分)
- ③ 4都道府県から報告 15:45～16:50(65分)
- ④ 夕食交流会 18:30～20:30

#### ■2日目 9:00 再開

- ⑤ 情勢講演 9:10～10:40(90分) 質問など 10:40～11:10  
講師：井上歩氏(ジャーナリスト) テーマ：東アジア共同体に関すること(予定)
- ⑥ 討論・交流 11:10～14:30(160分)  
..... 昼食・休憩(40分) .....
- ⑦ 交流集会まとめ 14:40～15:00

### 会場と費用など

場所 熱海 ニューフジヤホテル 0557-81-0111 (JR熱海駅下車：送迎バスあり)

\*詳細は後程お知らせします。

費用 交通費と宿泊費は参加者負担

### お願い

各都道府県から、活動の報告書を事前に日本 AALA 事務所にメールでお送りください。

### 日本 AALA 理論情報誌第5号を さらに普及しましょう

4/11～4/14に実施した日本 AALA 韓国ツアー初日におこなった南先生の講演の記録集です。各都道府県 AALA は、注文をまとめて日本 AALA へお送りください。会員のみさんの直接注文も歓迎いたします。

京都 AALA はこの理論情報誌を読み合わせて理解する学習会をひらいています。



南基正ソウル大学副教授 講演記録  
「日韓関係の国内政治と国際政治」—戦場国家と基地国家—  
頒価 300 円(講演 22 ページ、資料 11 ページ)

### お知らせ

- ベネズエラ音楽の夕べ  
11/9(水)  
阿倍野区民ホール/18:00 開演  
参加費：2500 円  
問合せ：大阪 AALA  
06-6768-5360
- 11/15(火)  
国分寺市いずみホール/18:30 開演  
参加費：2500 円  
問合せ：日本 AALA  
03-5363-3470

●日本 AALA 全国学習交流集会  
11/28、29(月、火)  
静岡県 熱海市



## 愛知

### 共同のとりくみで AALAを広げる



6月12日には「ASEANと日本～タイと中部」と題して、中日新聞本社経済部長林浩樹さんを講師に学習講演会をおこないました。タイ駐在の経験談を含めてASEANの歴史と現状と課題、直接投資、人的交流、中部地方と関係の深いタイの政治情勢を話していただきました。会員9人を含め17人の参加がありました。

7月17日の愛知サマーセミナーでは「選挙で選ぶ平和と豊かさ」と題して愛知県AALA理事の和田節子さんが講演しました。子育て支援、憲法の平和主義、「積極的平和主義」、ASEAN共同体などについて解説し、東アジアの平和・協力・繁栄の共同体の重要性を力説しながらAALAの活動も紹介しました。高校生14人、大学生1人、市民6人が参加しました。

8月11日から4日間、名古屋市公会堂で開催された「あいち平和のための戦争展」では、「紛争を戦争にしないASEANの取り組み」をテーマに展示しました。7月の国連海洋法条約の仲裁裁判所の判決も紹介しました。期間中愛知AALAで独自に編集したASEAN会合等の資料85部を参加者が持ち帰りました。

9月4日の愛知母親大会の分科

## 岡山

### 1団体と5人の加入者を 迎える

岡山県AALAは、2015年1月号から、機関紙「岡山AALA」の発行を継続しています。記事は、諸行事の案内・報告などで、とにかく継続することをめざしています。もう一つは、オスパールコーヒーの販売をおこなうことにより、財政への一定の成果が上がっています。

2016年度の総会は6月9日におこないました。今年はラオスとハノイの旅の報告会をおこない、AALAならでのラオス青年同盟、ラオス女性同盟、ベトナム平和委員会との懇談と意見交換をするなど有益な旅であったことを確認しました。

今年度は11月12日、ベネズエラ駐日大使を迎えて「ボリバル革命の進捗とその国際的意義」と題した講演会を予定しています。この成功に向けて県内の民主団体・労働組合を訪問し、AALAの存

会では、「ひとりの青年も戦場に送らない～ASEANに学ぶ日本の平和外交～」と題して、愛知県AALA理事長の福田秀俊さんが紛争を戦争にしないASEANについて戦争展の展示物を使って講演し、39人の参加者がありました。後日参加者から1名のAALA機関紙の購読申し込みがありました。(事務局長 新谷清美)

## 栃木

### 新日本婦人の会 壬生支部総会で学習会

9月11日、新日本婦人の会壬生支部の総会で、「AALAこれまでの活動と歴史から今日的情勢」と題して、学習・講演会をおこないました。先日の栃木県母親大会で栃木AALAの活動紹介が諸事情でできなかったことを心配され、学習も兼ねた講演の場をつくってくださいました。当日は、新婦人壬生支部の15、16人と栃木AALA



在意義と役割を紹介し、会員拡大を進めています。8月以降1団体と個人5人の加入がありました。

日本AALAが提起した「戦争するな、どの国も」の国際署名にとりくみ1141筆の署名を代表団へ託しました。

立憲主義を取り戻し、個人の尊厳を大切に作る国づくりに向け、野党と市民の共闘を発展させ改憲勢力を少数にと、岡山では市民団体「おかやまいっぼん」が、次期衆議院選にむけ「市民連合みえ」の岡歩美さんをお呼びし、「なぜ三重で勝ち、岡山で負けたのか」の市民レベルの総括集会をおこないました。「これが民主主義だ」の本領発揮を!

(事務局長 三戸康生)



からも4人が参加しました。

講演は日野川理事長がアジア・アフリカの動きを年表で説明し、非同盟運動の成り立ちや歴史も紹介し、ASEANの現在にいたるまでの歴史、各条約の中身、そして現在の政治的な状況などを、40分近く説明しました。

質疑応答では、日本をとりまく北朝鮮、中国のさまざまな平和を脅かす挑発的行動を心配して、戦争か平和か、いま私たちがなにを大切にすればよいのかなど、女性、母親の立場での思いや質問が出されました。

日本AALAの立場から日野川理事長は、東アジア友好・協力条約をめざすために東南アジア諸国

